

月刊 グラフィックサービス

No.874 2024 9

西谷印刷株式会社
代表取締役
西谷 毅さん

西谷印刷株式会社
妻 執行役員
西谷まなみさん

西谷印刷株式会社
営業部 課長
田中 芳実さん

西谷印刷株式会社
営業部
小出 夏実さん

■ 巻頭企画

需要創出を考える⑳

受賞企業に聞く

事例 29 ジャグラ作品展 業務用印刷部門 厚生労働大臣賞
文化庁メディア芸術祭 1997-2022 25年の軌跡

望月印刷(株) 営業部 チーフリーダー 松島 誠

■ 巻頭言

ご挨拶

—副会長 尾形 文貴

■ 特別企画

謄写版発明130周年

ジャグラ原点の『ガリ版』技術を振り返る

ジャグラ文化典東京大会実行委員会 寄稿

ジャグラ文化典 東京大会PR

■ 連載

ジャグリストを訪ねて

■ NEWSとお知らせ

中小企業省力化投資補助金の受付を再開
印刷屋さんのお仕事展2レポート
第60年度 第2回理事会を開催
知的財産権に関する紛争の責任・負担



ご挨拶

本部副会長 / (株)みつわ **尾形 文貴**



CONTENTS

■ 巻頭言

- 1 **ご挨拶**
副会長 尾形 文貴

■ 巻頭企画 需要創出を考える②

- 2 **受賞企業に聞く**
事例29 ジャグラ作品展 業務用印刷部門 厚生労働大臣賞
文化庁メディア芸術祭 1997-2022 25年の軌跡
望月印刷(株) 営業部 チーフリーダー 松島 誠

■ 特別企画

- 23 **謄写版発明130周年**
ジャグラ原点の「ガリ版」技術を振り返る
ジャグラ文化典東京大会実行委員会 寄稿
25 **ジャグラ文化典 東京大会PR**

■ 連載

- 8 **ジャグリストを訪ねて**

■ NEWSとお知らせ

- 5 **中小企業省力化投資補助金の受付を再開**
17 **第60年度 第2回理事会を開催**
20 **中小企業庁 知的財産権に関する紛争の責任・負担**

■ NEWSとお知らせ

- 9 ホリゾン [Horizon Smart Factory 2024] を開催
11 ジャグラBBホットニュース
22 **業界の動き**
ジャグラ 東京グラフィックス・港支部3連休満喫
岩手県支部定時総会開催
19 雑学コラム②
29 事務局日誌と今後の予定

- 10 JPA 後援会会員募集
12 ホリゾン・ジャパン(株)
13 富士フィルムグラフィックソリューションズ(株)
14 (株)小森コーポレーション
15 (株)ショーワ
16 東京リスマチック(株)
19 (株)研美社
24 JaGra グループ保険
表4 リョービMHI グラフィックテクノロジー(株)

月刊グラフィックサービス 発行趣意

月刊『グラフィックサービス』は、一般社団法人日本グラフィックサービス工業会会員、関係諸団体およびすべてのステークホルダーの皆様へ、自社の質的向上に役立ち、知恵と勇気を分かち合うことを目指し発行するものです。

本会の存在意義である人間交流スペースを構築し、社会の多様な要請にタイムリーに対応しつつ、共通の経営課題を持つ会員をネットワーク化し、その交流を積極的に支援するとともに小さいことでも有利となる経営施策も発信する情報ターミナルとなることを理想とします。

またその情報発信手段は誌面にとどまらず、環境に応じて多様な発信方法を検討、遂行することを責務とします。

【概要】

発行回数	月1回 / 年間12回	配布方法	・全会員へ直接郵送
購読料	ジャグラ会員は無償(会費を含む) ・希望企業、団体への有償配布		・ジャグラホームページからのダウンロード

本誌へのご意見・ご要望・記事提供は下記宛お寄せください

Eメール edit@jagra.or.jp 電話 **03-3667-2271** ファクス **03-3661-9006**

お手紙 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16 〒103-0001 (一社)日本グラフィックサービス工業会 宛

ジャグラ広島大会で副会長に就任した千葉県支部の尾形です。担当は作品展委員会と年賀状デザインコンテスト委員会になります。

関東地方協議会は地協会長イコール副会長でしたが、地協総会で地協会長と副会長を兼任することの難しさの指摘を受け、地協会長と副会長を切り離すことになりました。そこで今回私が副会長に推薦され、これを受諾した訳です。

私は千葉県支部青年部の立ち上げから支部活動に携わり、当時千葉県は4つのブロックで構成されていたため、千葉地区ブロックのブロック長と兼任していました。

その後、専務理事となりましたが、その当時の支部長が「尾形君、全国大会を千葉で受けちゃったから」と軽く言い放った時の驚きようは今でも忘れられません。

ジャグラ千葉大会を全会員総出で何とか乗り切れたのは、当時の会員数や会員同士の団結力などが若く行動力のある頼もしい会員が多かったことなどがあげられると思います。

上手くこの大会の設営ができたことで数年後には支部長が回ってきました。丁度この頃に日本軽印刷工業会(ジャグラの前身)では全国に青年部を作ろうという動きが出てきました。

この頃には藍友会という青年部があり東京、名古屋、大阪、四国4県、福岡、大分、千葉の若手のメンバーが登録され、当時私は千葉県の代表を務めていました。

藍友会では毎年持ち回りで総会を行い、勉強会や懇親会、観光などを行っていました。特に勉強会では経営の基礎的な計数管理や印刷技術、最新の設備や組版の基礎など様々なことを学びました。

懇親会では各自がその地区の状況や各社の内容説明やこれからの印刷業の在り方などを熱く語り合いました。時には明け方で意見をぶつけ合い、眠い目を擦りながら

翌日の観光へ参加をしていました。

この藍友会が母体となりSPACE-21を立ち上げていくことになりました。1992年熱海で最初の会合が開かれ、各地協の担当者が決められました。この担当者が地協内の各県支部長に連絡して、各県に青年部を作ってもらうようお願いをして回りました。藍友会の千葉県代表でしたので東京を除く関東地方での青年部立ち上げの要請を任されることになり、各県支部長に青年部立ち上げをお願いをしていくことになりました。もともと青年部があった支部は良かったのですが、無い県もあり、何度もお願いの連絡をしたことを記憶しています。今となってはSPACE-21の会員が楽しく勉強や懇親を行っているのを見ると、あの時にやって来たことが、今になって実を結び結果となり感無量の思いです。

これからの印刷業界を引っ張っていく若者が、勉強し育っていく姿を思い浮かべながら業界発展のため微力ながら尽力しようと思います。



SPACE-21 立ち上げで開催された会合集合写真
(前列左から3人目筆者)

熱海 1992.5.17

受賞企業に聞く

印刷需要が低迷し、価格競争が激化する経営環境の中で、ジャグラー会員企業はどのようにして活路を見出そうとしているのかを探るシリーズ。今回は令和5年度ジャグラー作品展受賞企業の中から、東京・城東支部の望月印刷(株)さんの事例をご紹介します。

令和5年度
事例29 ジャグラー作品展 業務用印刷部門 厚生労働大臣賞

文化庁メディア芸術祭 1997-2022 25年の軌跡

望月印刷株式会社 営業部 チーフリーダー 松島 誠

この度、令和5年度ジャグラー作品展におきまして、業務用印刷部門 厚生労働大臣賞を受け賜り、改めて御礼申し上げます。

弊社は過去7回ほど、ジャグラー作品展にて、入賞させていただいた経歴がございます。入賞は社の歴史として広報し、社員一同、仕事の励みにさせていただいております。

今後も、力のこもった誇らしい印刷物ができた際は、この名誉ある賞に応募して、弊社の製品を皆様に披露させていただきます。

受賞作品『文化庁メディア芸術祭 1997-2022 25年の軌跡』につきまして

公益財団法人 画像情報教育振興協会 (CG-ARTS) 様の主催された「文化庁メディア芸術祭」が、2022年に25周年の節目を迎えました。その記念として、発行された書籍が『文化庁メディア芸術祭 1997-2022 25年の軌跡』となります。

1997年以降、毎年開催された「文化庁メディア芸術祭」に際し、同時に発刊されていた『受賞作品集』という書籍を、弊社にて受注しておりました。しかし『受賞作品集』が近年、電子書籍に取って代わられる現実、直面いたしました。スピード・金額感に勝る、デジタル台頭による失注。やはり、時代の流れには逆らえないのか……印刷営業として、くすぶった気持ちが残ったままでした。そのような時に突如、CG-ARTS様から御指名という形で、後世に残す記念書籍を作るという、大きな事業に関わらせていた



受賞作品

たくチャンスを得ることができました。これまでの弊社の仕事を、評価していただいたことも、大きな理由のひとつでした。仕事を通して信頼を積み重ねていくことが、次の仕事につなげてくれるのだと、改めて気付かされました。

『文化庁メディア芸術祭 1997-2022 25年の軌跡』は、B5判・本文802頁からなります。表紙は箔で飾る、豪華な上製本です。これだけボリュームのある印刷物を、受注できるチャンスに出会うのは、現状なかなか難しいものがあります。御発注いただいた時、私自身が印刷の仕事を通して、いちばんやりたかった「本づくり」ができるぞ、と胸が高鳴ったのを覚えております。

今回は、積極的に印刷のディレクションに関わることで、本の品質を高めようという目的を、一貫して持ち続けまし

た。これができるのは『受賞作品集』作製の経験で、どこにモアレが発生するか、どこの色調がブレやすいかななどの印刷ポイントや、制作スケジュールの流れを事前に理解していたのが大きかったです。

印刷には、弊社のメイン印刷機である、「三菱 DAIYA」(表面ニスコーター付き UV システムオフセット菊全8色機)を使用しました。この印刷機は2004年に導入してから19年間使用し、今年9月で引退することになっております。品質・スピードの面で、お客様にご満足いただき、これまで弊社の信頼を押し上げてくれた印刷機です。

今回の賞では、「印刷の仕上がり」項目に対して、特に高い評価をいただくことができました。会社を支え続けた印刷機の記憶を刻む、弊社にとっても記念となる、印刷物になりました。

製本に関しましては、束幅約50ミリ・背の形は角背ということで、本が開きにくいという問題が、当初出てきました。寒冷紗をいろいろと試してみる、見返しの折り目のテンションを最適にするなど、試行錯誤をしました。また、表紙のすみ箔・シルバー箔による表現も、文字やバーコードの細かい部分がつぶれないよう、細心の注意を払いました。束見本作製の時点で、問題を一つずつクリアにしていたため、本番の製本は問題なく、製作進行できました。

印刷・製本期間が3月の繁忙期と重なり、本文802頁にもなると相当な台数のため、スケジュール取りにはだいぶ神経を使いました。

会社の仲間や、協力会社の皆様には、いつもに増して真剣に、この仕事に取り組んでいただいたように思います。「本をつくる」という一つの目的が、皆の心の中で共有されたからだだと思います。質・量ともに、精魂を込めるにふさわしい本だったということも大きいです。

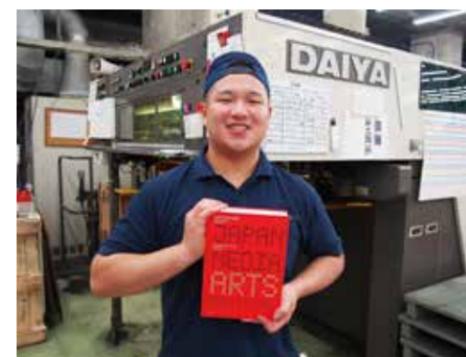
今回はミス・トラブルもなく、納品までたどり着くことができました。スケジュール調整・仕様決定につきましては、制作ご担当のCG-ARTS 脇本様・筋(あざみ)様、編集ご担当の(有)STORK 竹見様・粕川様に、多大なる御協力をいただきました。この場にて、感謝を伝えさせていただきます。

『文化庁メディア芸術祭 1997-2022 25年の軌跡』は、重さが約1.8kgあります。手に持つと、ずっしりとききます。表紙も鮮やかな赤色の用紙を使用しており、本という素材の存在感が目前に迫ってきます。本ができて手に届いた時の高揚感は、印刷の仕事を通して得ることのできる、かけがえのないものであります。

本の内容は、日本の近年のメディア芸術史が広く網羅されており、まず読み物として面白いです。また情報量も膨大で、辞書のように多方向から調べる読み方もできます。

公益財団法人 画像情報教育振興協会 (CG-ARTS) 様のホームページ (<https://www.cgarts.or.jp>) を通じて、購入ができます。以下、CG-ARTS様の本書籍の紹介文です。

「第1回文化庁メディア芸術祭が1997年度に開催され、2022年度に幕を下ろすまでの25年間。デジタル技術の発展とともに育まれたメディア芸術を紹介し、国際的なフェスティバルに成長していった軌跡をまとめた800ページにおよぶ記録集です。」



石塚機長と受賞作品



メイン印刷機(三菱 DAIYA)

価格競争から価値競創へ

近年、印刷営業を通して感じる、世間の印刷物の価値は特に、低価格であることに傾いているように思います。印刷物の絶対的需要が減る中、価格のみを根拠に仕事を奪い合う状況に、私自身も日々巻き込まれております。かつ、近年の物価高が続く中、印刷業界は人件費・原材料費・光熱費などコスト上昇の価格転嫁にも、取り残されているように思います。顧客だけではなく、印刷業界自体が低価格を一番に追いつけてしまうことに、問題を強く感じております。

弊社は、お客様に寄り添った仕事を行うのが強みです。お客様の希望を忠実にかなえるスタイルです。しかし、価格だけではない勝負に持ち込むためには、顧客に向け、効果的な提案をして、付加価値を上げていく努力をしなければなりません。ただの情報伝達が目的なら、印刷物は将来的にデジタルデバイスに代わられてしまいます。

印刷という、物質として次世代まで残すことができるものの価値を、どこまで高めることができるのか。そういった土俵で、知恵と創造力の勝負を通して、印刷業界が活性化することができれば、印刷という仕事を未来につなげることができるし、社会にもっと発信・宣伝することも可能になると思います。今回の受賞作品では、不思議と芸術作品を作っているような感覚がありました。複製技術としての印刷物が、アウラをまとい、身近で本物のアートになる時代が来たら、また印刷物の価値が大きく高まるのではないかと夢想してしまいます。

夢想で終わらさないために、どうすべきか。まず私自身がやるべきことは、新たな提案を加え実現化し、自信を持ってお客様にお届けできる印刷物を作ること。また、印刷物の可能性を決して諦めることなく、具体的な創造を追求し続けることだと考えております。



望月印刷 業平工場

望月印刷、創業 120 年に向けまして

望月印刷では、11月より、新台となる印刷機「リョービMHI タンデムパーフェクター」(1020V 2TP-8-27)を導入いたします。導入に際しましては、実際に機械を使用するオペレーターの意見が大きく反映されております。変更前の印刷機に、近い操作性と機構を持つことから、品質を落とすことなく、お客様の御希望に引き続き対応できるよう準備しております。また、デジタル印刷物にはない、オフセット印刷物の質感も、これからの時代は価値のひとつになると思います。

弊社は東京・浅草橋に本社を構え、工場は東京・墨田区の業平にあり、東京スカイツリーの足元近くになります。また、関連会社の㈱スタジオエビスは、日本を代表するグラフィックデザイナー田中一光様の「よい印刷物には、よい写真が必要」というコンセプトを基に設立されました。渋谷区の恵比寿駅から徒歩1分の大型撮影スタジオです。東京でも恵まれた立地を生かし、会社間の壁を越え、新しい印刷の形を創造していきたいと考えております。

望月印刷は来年創業120年を迎えます。創業1905年、119年以上にわたり印刷の道を歩み、品質を究めてきました。品質とは、お客様のニーズに的確にお応えすることです。これからも、皆様の厚い信頼にお応えできるよう、励んで参ります。



業平工場屋上から見上げた、東京スカイツリー

全国中央会 中小企業省力化投資補助金の受付を再開 人手不足の省力化製品で1/2補助

全国中央会は8月9日から中小企業省力化投資補助金の応募申請の受付を再開しました。

同補助金は、人手不足解消に効果があるロボットやIoT等の製品を導入するための経費を国が補助することにより、簡易で即効性がある中小企業の省力化投資を促進し、売上拡大や生産性向上を図るとともに賃上げにつなげることを目的としています。

特徴は3点です。

- ・対象製品のリスト(カタログ)に登録された省力化製品から、自社の課題に合わせて製品を選択できる。
- ・「販売事業者」が製品の導入を支援。申請・手続もサポートする。
- ・補助率は1/2(補助上限額は従業員数ごとに異なる)。

人手不足の中小企業などが、省力化製品を対象製品のリスト(カタログ)から選んで導入し、販売事業者と共同で

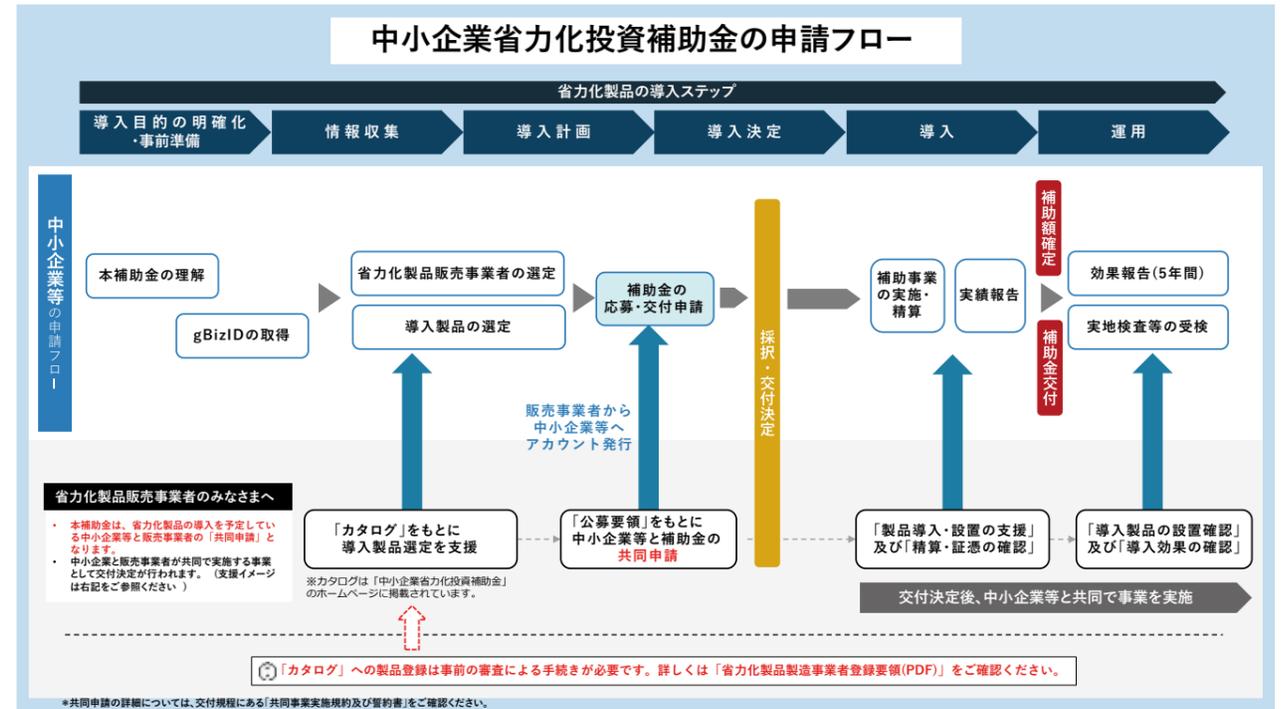
「労働生産性年平均成長率3%向上」を目指す事業計画^{*1}に取り組むものを対象とします。

条件としては、申請時に全ての従業員の賃金が最低賃金を超えていること、補助金の重複に該当しないことなどの要件^{*2}を満たす必要があります。また、補助金の交付が決定された場合でも事業実績報告の審査によって補助額の減額となる場合があります。

- ※1. 公募要領「4-1. 補助対象事業の要件」を参照。
- ※2. 公募要領「4-2. 補助対象事業者の要件」を参照。

従業員数が5名以下の会社の場合、補助上限額は200万円で、補助事業実施期間に一定以上の賃上げを達成した場合、300万円に引き上げられます。6から20名の場合、補助上限額500万円で、同様の賃上げを達成すると750万円に引き上げられます。

【問合せ】Tel 0570-099-660 (ナビダイヤル)
03-4335-7595 (IP 電話など)



『2024 印刷屋さんのお仕事展2』を開催 子どもたちが印刷に触れる2日間

夏休み中の子どもたちを対象に、印刷の面白さや中小印刷会社が手掛ける印刷に触れてもらう「印刷屋さんのお仕事展」を8月4日（日）、5日（月）とお盆休み前の日曜日を絡めて今年も開催しました。

昨年ジャグラ作品展の受賞作はもちろん、応募された様々な作品をもっと一般の方々に、特に次世代のグラフィックサービス業を担う子どもたちに見て、触れてもらいたいという趣旨のもと、同イベントを企画、手応えを感じ、今年も開催に向けて準備を進めてきました。

はじめに会場探しからのスタートでしたが、ありがたいことに今回は中央区から、東京五輪選手村跡地のHARUMI FLAG 近くにオープンした晴海地域交流センター『はるみらい』1階の地域活動スタジオを無償で貸し出しいただくことができました。昨年12月にオープンしたばかりの同会場は1階に地域交流スタジオ、2階に学習スタジオ、料理スタジオ、集会室を備え、3階には温浴ス

ペースやキッズスペース、多目的スタジオ、音楽スタジオを備え、さらにトレーニングスタジオやレストランも入居している複合施設です。日常的に地域の方々が利用していることもあり、来場への期待も高まります。

より多くの方にご来場いただくため、会期2週間前にポスティングサービスを利用して会場となるはるみらい地域周辺の住居等にチラシを配布させていただきました。このチラシ効果が大きく、会場をお借りしたはるみらいの事務局にも問い合わせが何件も入ったと聞いています。

肝心のイベント内容ですが、令和5年度作品展受賞作や応募作品の展示のほか、作品展委員会のアイデアマンである高橋亮太委員（栃木県支部長）プロデュースによる“SDGs 残紙で紙釣り”“手書きをその場で缶バッジ製作体験”“色にこだわればFUNKY DRINK”の3つに加えて、神奈川県支部にご協力いただいた“親子で学ぼうガリ版体験教室”と、前回から大幅に体験型の企画を充実させました。

FUNKY DRINK 体験

高橋委員、神奈川県支部の露木支部長、岡澤様、上澤様、藤田様、そして残紙をご提供くださいました会員の皆様に改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

■ 想定以上の来場者に

8月4日（日）、いよいよ当日を迎え、朝ニッケイビルから荷物を搬出し、9時から10時までの1時間で会場を準備していると、10時前からチラシを手に持った親子が集まり始めました。昨年の経験ではポツポツとまばらに来場されたため、ゆっくりと対応できるのではと思っていましたが、10時になると、会場に親子が殺到し、あっという間に全てのコーナーが埋まりました。

一番の要因は、チラシを持ってきた方が“色にこだわればFUNKY DRINK”を体験できるとしたことでした。色とりどりのシロップとジュースで自分好みの飲み物を作る（あるいは作ってもらう）子どもたち。色鉛筆などを駆使して描いた絵が缶バッジになると目を輝かせて喜びます。紙釣り体験では、高級そうな紙を狙うようにささやく親御さんと、魚の形に切り抜かれた紙が欲しい子どもたちが、一生懸命、釣り針の代わりに釣り糸に括りつけられた磁石を駆使して、紙を釣っています。子どもが遊んでいる時には親御さんは展示作品を手にとって眺めています。

会場が少し落ち着いたと思った矢先に、今度は工作スタジオで始まったガリ版体験教室が予想以上に盛況となります。

当初整理券を1階で配布していましたが、整理券を持っていない親子も直接工作スタジオに訪れ、定員を大幅に超えました。神奈川県支部の皆様のご厚意で急きょ定員を2倍に増やしてもらい、何とか無事に1日を終えることができました。若い親御さんが多く、なぜガリ版体験教室に来たのか列を整理している時にうかがうと、小さい頃に記憶がある、アナログの印刷体験で子どもが面白がると思ったといった理由で参加されたそうです。皆さん真剣な眼差しで下絵を書き、ヤスリで削って版を作り、インクを載せて紙にローラーで転写する流れを体験していきます。

ガリ版体験が終わると再び、1階の会場に戻り、思い思いに紙釣りなどで遊んでいましたが、受賞作品を展示したところが畳の小上がりになっていたこともあり、畳に座って写真集などを読んでいる子どもがいました。



令和5年度作品展受賞作や応募作品の展示

途中、東京の会員さんがお休みにもかかわらずご来場くださいました。ありがとうございます。

2日目は初日ほどの勢いはありませんでしたが、2日連続で通ってくれる子どももおり、まばらですが来場者がコンスタントにありました。中には2日目もガリ版教室があると勘違いされて来場した方もおり、次回以降の検討事項とさせていただきます。ゆったりとした時間が流れる中、2日目は業界関係者の方が多数来場くださいました。

2日間を通して、作品展の優秀作品の披露の場でもありましたが、広く一般の方に少なからず印刷業のお仕事への興味関心を持っていただけたのではと思います。印刷業は斜陽産業と言われるますが、印刷・グラフィックサービス業界には魅力があるということを発信するイベントとして来年、再来年と継続、発展させていければ幸いです。

全国でも同様のイベントを開きたいといった地協・支部がありましたら検討いたしますのでお気軽にご相談ください。

<スペシャルサンクス>

- 高橋 亮太 委員（作品展委員会）
- 谷山 和也 委員（広報委員会）
- 岡澤 誠 委員（作品展委員会）
- 樋貝 浩久 委員（作品展委員会）
- 露木 貴弘 委員（作品展委員会）
- 上澤 宏史 委員長（ジャグラ神奈川 SDGs 委員会）
- 藤田 博之 委員（ジャグラ神奈川 SDGs 委員会）
- アイメディア(株)、あいわプリント、(株)カミヤマ
- (株)クイックス、(株)興版社、西谷印刷(株)
- (株)文化ビジネスサービス、(株)カミヤマ

ガリ版体験教室



紙釣り体験



缶バッジ製作体験





マスタース クラブ ジャグリストを訪ねて

北海道旭川市 渡辺辰美支部長

マスタースクラブ 会長 吉岡 新

株式会社あいわプリント沿革

- 1972(昭和47)年 和文タイプ組版専業として発足
(旭川市4条通16丁目)
 - 1975(昭和50)年 社屋移転(旭川市7条通7丁目)
オフセット印刷機導入
 - 1979(昭和54)年 営業部発足
 - 1984(昭和59)年 電子組版システム導入
 - 1988(昭和63)年 社屋移転(現在地)
 - 2000(平成12)年 CTP導入(シルバーデジプレート)
 - 2006(平成18)年 ホームページ開設
 - 2009(平成21)年 デジタル印刷機導入
 - 現在に至る
- (株)あいわプリント HP <http://aiwaprint.jp>

2024年7月6日13時55分JAL555便に乗り羽田空港を出発し、予定通り15時30分旭川空港に到着しました。旭川空港は曇空の天気で小雨が降ったり止んだりの空模様です。気温は25℃、東京が35℃なので快適です。約束の時間まで少し余裕があるので、旭川駅近くのホテルにチェックインを済ませました。今日は「株式会社あいわプリント」の渡辺社長を訪ねての訪問記です。

夕方ホテルにて渡辺社長と再会です。6月のジャグラ広島大会でお会いしているの2週間振りです。今夜は二人でジビエ料理を食べに行きます。

吉岡 北海道旭川市に住んでいるルーツを教えてください。
渡辺 私の父親は山形県出身で東京で就職しましたが、その会社が札幌市に移転し従業員全員が札幌に移住したと聞いています。私は山形県で生まれ3歳で移住し、小中高と札幌で育ちました。受験に失敗しその責任を取って仕送りなしで、大学は室蘭工業大学の夜間部に行きました。昼間は印刷会社でアルバイトをしながら学費を稼いで、夜は大学で講義を受けその後はサークル活動と飲み会でとても充実していました。

吉岡 大学時代は色んな意味で忙しかったんですね。

渡辺 アルバイト先は和文タイプライター主流の印刷会社

でした。50年前のことです。

吉岡 旭川市で印刷に携わることになるのはいつ頃のことですか。

渡辺 1978年(昭和53年)頃に「株式会社あいわプリント」に入社し、生産部版下係としてスタートしました。

吉岡 当時は「日軽印」の時代で和文タイプライター全盛時代でしたね。

渡辺 青原紙からカーボンテープでの清打ちの時代でした。やがて活版活字に近いタイプレス活字の時代となり、品質と組版ルールに拘っていた時代です。

吉岡 東芝がワードプロセッサを発表したのが昭和53年秋でした。

渡辺 当時はどんなものかわかりませんでしたが、今思うと和文タイプライターが次の時代が変わっていくデジタル化への第一歩でした。この頃から電機メーカー各社がワープロを発表してきました。しかし、ドットインパクトによる普通紙出力ではまだまだ出力品質が悪かったのを覚えています。

吉岡 各社が出力品質の向上に努めている頃、昭和57年日軽印では次期組版システムの開発に取り組みます。開発委託メーカーも日本電気漢字システムに決まり、昭和59年完成を目指しました。私もこの開発プロジェクトのメンバーの一人でした。

渡辺 この頃色々検討したのですが、東レのFX500を



あいわプリントと渡辺社長

一足早く導入しました。外字と罫線に強いのが魅力でしたが、A3一枚を出力するのに15分かかりました。この頃のことは、弊社ホームページの「DTP 事始め」に書いてあります。是非、読んでください。

吉岡 そうでしたか進んでいたんですね。アナログからデジタルへの移行期間でした。新システムの教育もフロッピーディスクの管理も大変でした。やがて1990年頃になるとマッキントッシュが出現し、アドビ社のイラストレーター・フォトショップによるカラーDTPシステムが出現してきます。

渡辺 どんどん新しい技術が発表されてついていくのも大変でした。

吉岡 1980～2000年頃は、印刷業界も世の中も一気にデジタル化へシフトした時代でしたね。この時から四半世紀が過ぎ、情報伝達の分野が急速に拡大し、印刷物の出荷量が減少していますが、印刷会社も印刷に拘らず積極的に情報分野に進出しています。

渡辺 印刷会社も大分様変わりしました。このような変化の時代を生き抜くのは大変でしたが、今思うと楽しい時代でした。

吉岡 今日は懐かしい話、記憶を蘇らせてくれる話ができて楽しかったです。ありがとうございました。

渡辺 旭川を楽しんでください。

同じ世代を生きてきた渡辺氏とは、同じ業界で同じように仕事に取り組んできたんだなとしみじみ思いました。これからもジャグリストとして共に頑張っていきましょう。

本格的なジビエ料理を初めていただきました。エゾシカ、イノシシなどとても美味しくいただきました。旭川市に行かれましたら皆さんもジビエ料理を食べてみてください。混んでいるので予約してください。ホームページを載せておきます。(gibierbar-yamagami.com)

ホテルへの帰り道に日本酒のモダンな立ち飲みのに寄り、良い気分の千鳥足で帰りました。渡辺さん、ありがとうございました。



お知らせ

ホリゾン

「Horizon Smart Factory 2024」を開催 10月9日(水)～11日(金) Horizon Innovation Park

ホリゾングループが2024年10月9日(水)～11日(金)の3日間、本社びわこ工場 Horizon Innovation Park (滋賀県高島市)で「Horizon Smart Factory 2024」を開催します。スマートファクトリーをテーマにしたイベント「Think Smart Factory 2019」の開催から5年。自動化を推進してきたホリゾンが新たなステージを目指す。

同イベントではAGVやロボット、AIなどの最新技術を組み合わせ、印刷・後加工・梱包・運搬までの無人化に挑戦。プリンターや後加工機はワークフローシステムで統合され、JOB

の流れ、稼働進捗までの見える化を実現します。オペレーターはより付加価値の高い業務へと専念し、ワークライフバランスの取れた働き方へとシフトすることが可能になります。「自動化」から「無人化」へ、さらに進化したファクトリーオートメーションの可能性をHorizon Innovation Parkで体感できます。

【Horizon Smart Factory 2024 概要】

日時：2024年10月9日(水)～11日(金)
午前10時～午後5時

場所：株式会社ホリゾン 本社びわこ工場構内
Horizon Innovation Park (滋賀県高島市新旭町旭1600)

主催：ホリゾン・ジャパン株式会社、ホリゾン・インターナショナル株式会社、株式会社ホリゾン

協賛：キャノンマーケティングジャパン株式会社/ダックエンジニアリング株式会社/富士フィルムビジネスイノベーション株式会社/株式会社JSPIRITS/コニカミノルタジャパン株式会社/リコージャパン株式会社/理想科学工業株式会社/リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社/株式会社SCREENグラフィックソリューションズ

協力：株式会社バリューマシーンインターナショナル



おすすめ番組情報

いまずぐチェック!

ジャグラ BB | 🔍

広報委員会
が選ぶ!

あるよね……。



カテゴリ 教育と技術 > DX・総務経理・その他

お困りごと解決シリーズ-1 前編

「出カデータが古いデータに入れ替わった!」前編です。同じようなトラブルを経験したというDTPオペレーターやプリプレス部門の方々にお勧めの動画です。ぜひご視聴ください。



「人材」を「人財」に

JPAの伝統は、自ら学ぶ姿勢を身に付けることを目指しているところにあります。

現在、私たちは前例のない時代に置かれています。このような時には、単なる知識教育だけではどうにもなりません。自ら時代を振り返り、現在をどのようにとらえるか、真剣に、徹底的に考えることで、将来のイメージが浮かんでくるのではないのでしょうか。技術もマーケティングも同じことでしょう。「人材」を「人財」に磨き上げるきっかけを、JPAで経験して頂きたいのです。

後援会会長
浅野 健 株式会社金羊社 取締役会長

人財育成への支援を通じて業界の「ミライ」を創る。



後援会副会長
作道 孝行 作道印刷株式会社 代表取締役



後援会副会長
岡本 泰 株式会社クイックス 代表取締役社長

日本プリンティングアカデミー

後援会 会員募集中

40
会員突破!

当後援会は、次世代を担う印刷関連産業人の「教育」と「成長」の支援を目的とした会です。私たちは、印刷業界に特化した教育機関であるJPAへの支援を通して、印刷業界で活躍できる次世代の人財育成をサポートしています。また、本会が会員同士の新たなビジネスネットワークの構築・ビジネスモデルの創出のきっかけになればとも考えております。印刷業界の「未来」を創る＝人財育成の支援のために、ぜひ本会にご入会いただけますようお願い申し上げます。



日本プリンティングアカデミーとは?

1978年に、共同印刷株式会社をはじめとする業界関連企業からの支援で創立された、東京都認可の専門学校・Off-JT教育機関です。創立より、「印刷業界の事業革新と社会的価値向上に貢献できる人財を育成する」を教育理念に掲げ、これまで約1,000名以上の卒業生を輩出しています。また、Off-JT教育機関として年間200名を超える社員の研修も行っています。

年会費

法人会員 30,000円

個人会員 10,000円

会員特典

JPA主催セミナーの割引

JPAが主催する社員向けのセミナーが、特別価格でご利用いただけます。新入社員～管理職者向けまで企業の人財育成戦略に合わせた各種研修が受講できます。
※詳しい研修の詳細、金額についてはお問い合わせください。

入会方法

右のQRコードを読み取っていただき、入会申込フォームに必要事項を入力の上、お申込みください。申込が確認でき次第、事務局よりご連絡いたします。



9月は「印刷の月」

カテゴリ > ニュース > ジャグラ情報



映画「謄写印刷の技術」(昭和34年製作) ジャグラ60周年記念特別公開

ジャグラ60周年を記念して、映画「謄写印刷の技術」を公開します。昭和34年に製作された映画です。



漫画仕立てでPR

カテゴリ > ニュース > ジャグラ情報



ジャグラ東京大会 マンガ動画 第一弾

2025年6月ジャグラ文化典東京大会は、ジャグラ創立70周年記念大会。



お問い合わせ



学校法人 日本プリンティングアカデミー
〒112-0002 東京都文京区小石川 4-13-2

電話 03-3811-2734 後援会事務局 中村まで 平日9:00～17:30

メール koenkai@jpa.ac.jp ※件名に「JPA 後援会」とご記入ください。



ジャグラ BB は、ジャグラが運営する、印刷業関連のセミナー、情報動画配信サイトです。2006年の開局以来、印刷業の情報収集、人材教育ツールとして多数の印刷会社に活用されています。

Horizon
Change the focus

HORIZON SMART FACTORY 2024

自動化から無人化へ



スマートファクトリーをテーマにしたイベント「Think Smart Factory 2019」の開催から5年、
自動化を推進してきたホリゾンは、新たなステージを目指します。

本イベントでは、AGV やロボット、AI などの最新技術を組み合わせ、
印刷・後加工・梱包・運搬までの無人化に挑戦します。
プリンターや後加工機はワークフローシステムで統合され、
JOB の流れ、稼働進捗までの見える化を実現。

オペレーターは、より付加価値の高い業務へと専念し、
ワークライフバランスの取れた働き方へとシフトすることが可能に・・・
「自動化」から「無人化」へ、さらに進化したファクトリーオートメーションの可能性を
Horizon Innovation Park でご体感ください。

2024
10.9 WED ▶ **11** FRI
10:00
17:00

株式会社ホリゾン 本社びわこ工場内 Horizon Innovation Park
(滋賀県高島市新旭町旭1600)

主催：ホリゾン・ジャパン株式会社 / ホリゾン・インターナショナル株式会社 / 株式会社ホリゾン

協賛：キヤノンマーケティングジャパン株式会社 / ダックエンジニアリング株式会社
富士フイルムビジネスイノベーション株式会社 / 株式会社 JSPIRITS
コニカミノルタジャパン株式会社 / リコージャパン株式会社 / 理想科学工業株式会社
リョービ MHI グラフィックテクノロジー株式会社 / 株式会社 SCREEN グラフィックソリューションズ
協力：株式会社パリューマシーンインターナショナル



最新情報はこちらから

ホリゾン・ジャパン株式会社 www.horizon.co.jp

本社 〒101-0031 東京都千代田区東神田2-4-5 東神田堀商ビル5F TEL.03-3863-5361(代) FAX.03-3863-5360
東京支社 〒132-8562 東京都江戸川区松江5丁目10-9 TEL.03-3652-7631(代) FAX.03-3652-8083
京都支社 〒601-8206 京都府京都市南区久世大藪町510 TEL.075-933-3060(代) FAX.075-933-4025
福岡営業所 〒813-0034 福岡県福岡市東区多の津4-12-17 TEL.092-626-8111(代) FAX.092-626-8112
仙台サービスセンター 〒984-0002 宮城県仙台市若林区卸町東1-7-31 TEL.022-782-2821(代) FAX.022-782-3068

FUJIFILM
Value from Innovation

お客さま一社一社の 変革ストーリーを、 共に紡ぐ。

生産環境のムダをなくすことで、経営資源に余力を生み出す。
その余力を原資として、成長に向けた新たな一歩を踏み出す。
富士フイルムは、「最適生産」を軸としたお客さまの企業変革を
共に考え、共に推進し、「持続的な企業成長」へと導きます。



FUJIFILM

最適生産ソリューション

■最適生産ソリューションの詳しい情報はこちらから

FFGS 最適生産ソリューション

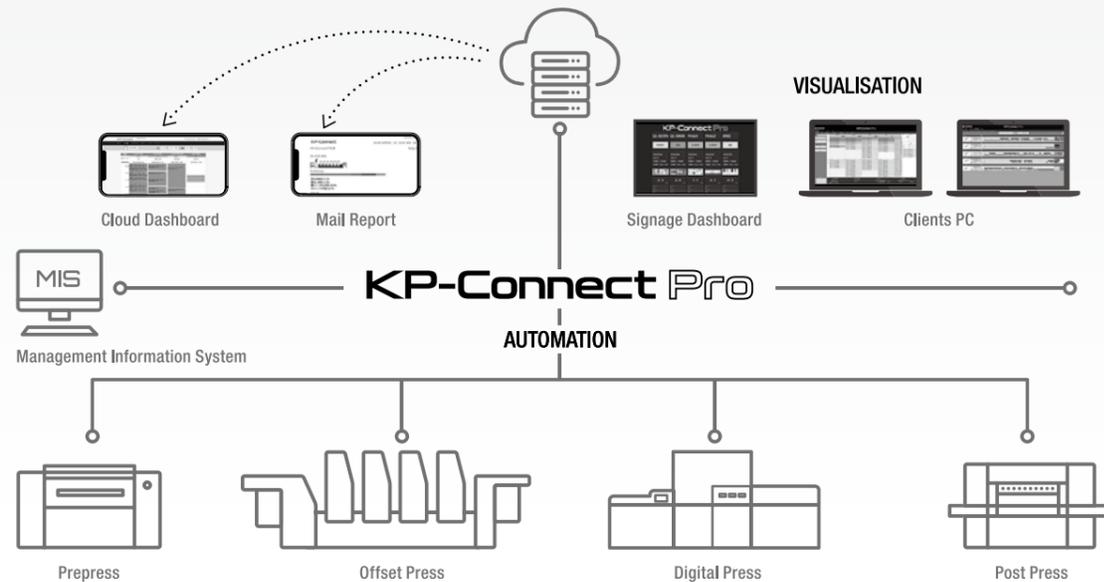


富士フイルムグラフィックソリューションズ株式会社

富士フイルム ビジネス イノベーションジャパン株式会社

CONNECTED AUTOMATION

— 印刷DX 新しい世界への扉 —



「データの一元化」「見える化」「整流化」「自動化」



『KP-コネクトプロを軸に省人化・省力化技術を搭載した機械や生産システムをつなぐことで、お客様の生産性を極大化していく』概念です。オープンな環境を提供することで、業界の様々なメーカー・ベンダーと連携、共創していきます。高度な自動化機能を搭載した最新機リスロンGX/Gアドバンスモデルとの併用で、さらなる効果を発揮します。

MADE IN JAPAN WITH STATE-OF-THE-ART TECHNOLOGY

株式会社 小森コーポレーション
〒130-8666 東京都墨田区吾妻橋 3-11-1 TEL.03-5608-7806
www.komori.com

コネクテッド・オートメーション
についての詳細はこちら



<https://www.komorisolutions.com/ca/ja/>



ユーザーサポート こそ商品

株式会社ショーワは、謄写版および付属品の販売と謄写印刷業の〈昭和謄写堂〉として、昭和3年に幅弓之助が創業しました。創業者の幅弓之助は「良いものを売り、売ったものには責任を持つ事」に頑固なまでにこだわり続け、そのこだわりは創業から100年に向けて今なおショーワの社員一人一人にDNAとして脈々と受け継がれています。

長きに渡り、多くの取引先企業様より厚い信頼を寄せて頂けるのも、企業理念にもあります様にユーザーサポートという目に見えない、形のない「商品」だからこそ、付加価値を創造し続け、溢れる情報、市場状況を正確に分析・判断しうる知識とユーザーサイドで常に物事を考える「誠意」が評価して頂けているものと考えています。

今後も常に「ユーザーサポートこそ商品」の企業理念、創業者・幅弓之助の熱い志を胸に社員一同業務につとめていく所存です。

21世紀のグラフィックアーツを共に考えるショーワユーザー会

コラボレーション&リサーチ ユーザー会で密に情報交換

年間活動
SHOWA会

- 研修会 ○工場見学 ○総会・幹事会
- 会報・メールマガジンの発行 ○有志グループ活動

問い合わせ、入会お申込みは事務局まで
SHOWA会事務局 TEL.03-3263-6141 FAX.03-3263-6149



〒101-0065 東京都千代田区西神田 2丁目7番8号 TEL 03-3263-6141(代) FAX 03-3263-6149

株式会社
プリントメディアの総合商社
<http://www.showa-corp.jp/>

TOKYO QUALITY.

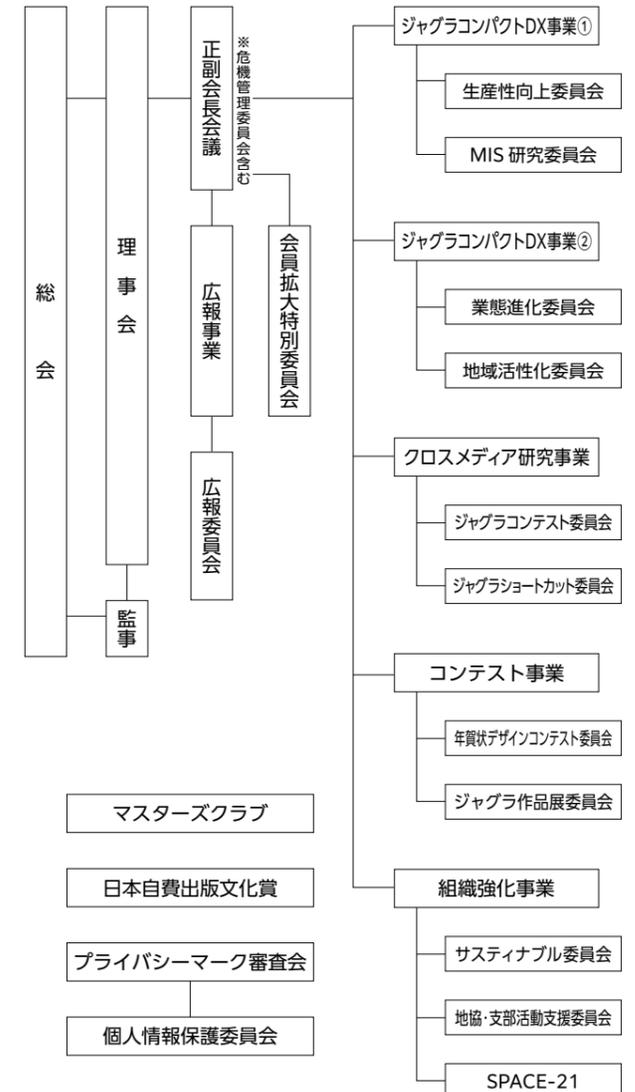
すべてのSPコミュニケーションに最良の品質を。



第60年度 第2回理事会を開催

ジャグラは6月22日(土)、リーガロイヤルホテル広島 楓の間で第2回理事会を開催しました。以下、理事会議事録をご報告します。

[組織体制図]



第一号議案 役職の選任に関する件 (承認)

省略 (GS 7月号P 7をご参照ください)

第二号議案 事業の推進に関する件

〔提案内容〕

第60年度～61年度の事業推進体制は、右の組織体制図のとおりとしたい。

《検討の経緯》

議場に質問・意見を諮ったところ、他に発言はなく満場一致で承認した。

第三号議案 年間スケジュールの変更・決定に関する件

省略 (巻末スケジュールをご参照ください)

第四号議案 顧問・相談役・参与の委嘱に関する件 (承認)

第60年度～61年度の顧問・相談役・参与の委嘱について、下記のとおり追加したい。

- ・顧問…中村 耀 氏
- ・相談役…中島 博 氏

《検討の経緯》

議場に質問・意見を諮ったところ、他に発言はなく満場一致で承認した。

東京リスマチック株式会社

なんでも相談窓口
プリントデスク ☎ 0120-269-132

平日(月～金) 9:00～17:00 E-mail: support@lithmatic.co.jp



Lithmatic
http://www.lithmatic.net

「これからも文字とともに」

モリサワ邦文写真植字機 発明100周年記念パーティー

株式会社モリサワは、7月24日、リーガロイヤルホテルで「これからも文字とともに」モリサワ邦文写真植字機発明100周年記念パーティーを開催しました。

会場には、写植発明模型やA型写真植字機、津守工場模型、欧文専用機、MC-6（動体展示）、ROBO 15XY、MK-300、ライノトロン 202E、Macintosh SE / LaserWriter II NTX-Jが展示され、同社の歴史を振り返ることができました。

パーティーには印刷、出版、デザイン、政界、スポーツ、教育、金融、法律界など国内外の各界から約700名が臨席した。ジャブラからも岡本会長が来賓として出席しました。オープニング映像が流れたあと、主催者を代表して森澤彰彦社長が挨拶し、本印刷産業連合会の添田秀樹副会長が祝辞を述べました。

鏡開きでは、森澤社長、日印産連の添田副会長に加え、日本印刷技術協会の網野勝彦会長、全日本印刷工業組合連合会の瀬田章弘会長、日本グラフィックコミュニケーションズ工業組合連合会の錦山慎太郎会長、日本グラフィックサービス工業会の岡本泰会長、日本グラフィックデザイン協会の永井一史会長、衆議院議員の西村康稔氏、アドビ(株)の中井陽子社長、(株)写研の笠原義隆社長、モリサワ会の前川光会長、(株)三菱UFJ銀行の早乙女美副頭取、シーズアスリートの浦田理恵氏、久金属工業(株)の久義裕社長が登壇。賑々しく鏡開きを行いました。途中、森澤嘉昭相談役が挨拶し、日本グラフィックデザイン協会の永井会長の中締めでお開きとなりました。



アプリって割と簡単に作れるのです!

社内報アプリを 導入する企業続々!

近年、社内報をアプリで配信する企業増加中! 経営層からのメッセージや最新ニュースなどをリアルタイムで共有。コメント機能やアンケート機能など、デジタルが繋ぐ、広がるキズナ。

情報共有の
迅速化

地域活性化を促進する デジタルスタンプラリー!

手軽に参加! 観光地や商業施設で、地域活性化や集客促進に! スマホがあれば、いつでもどこでも簡単に参加できます。参加者数や達成率などの効果測定もタイムリーにOK!

ちょっと覗いて
みてください↓

オリジナルアプリ作成は 研美社にお任せを!

導入事例
山形県産地産品をPRするアプリ
新商品のご案内やECサイトへの集客に活用中!
J-Plusへの導入
プッシュ通知で届ける、競合の旬な情報!

閲覧率・
読了率の向上
&
エンゲージメントUP

ちょっと覗いて
みてください↓

株式会社 **研美社**

(東京営業所) 東京都中央区八丁堀 2-20-9 八丁堀 FRONT 1F
(大阪本社) 大阪市都島区片町1-5-13 大手前センチュリービル B1F/5F

03-6228-3900
06-6351-1766

雑学 野口聡の 学コラム②

47都道府県のお話 (その19: 愛媛県)

ジャブラ会報をご覧の皆様、こん〇〇は。ジャブラ東京・東グラ文京支部のアクティブ・野口です。

まず最初に先々に宝塚記念の事を書きましたが見事に散ったことをここに記して今月の話に入りたいと思います。

さて、今回ですが四国は愛媛県を取り上げようかと思います。この記事を書いているのは8月で丁度夏の甲子園大会の真っ最中でありまして。愛媛県も他の3県に勝るとも劣らない野球王国ですのでこの辺りをつつらと。

愛媛県の野球の強豪校と云ったら皆さんはどこが思い浮かぶでしょうか。松山商(言わずもがな)・済美(やればできるはティモンディの合言葉)・宇和島東・新田・今治西・新居浜商・西条…まあキリがありません。そんな愛媛県+野球となつて出てくる意外な人がいます。1867年現在の愛媛県出身、その筆名はホトトギスに因み34年の短い生涯で俳句・短歌・小説等の創作を行った、「柿食へば〜」で知られる。と云えば…そう正岡子規です。

ご存知の方もいらっしゃるかもしれませんがこの方相当の野

球好きで実際選手(キャッチャー)として活躍してたんだそう。好きが高じて自ら「野球(の・ぼーる)」と云う雅号(因みにこれはベースボール=野球と云う造語が出来るより以前に子規がイメージで使ったそう)も使い、バッターを「打者」、ランナーを「走者」と云う現在でも使用されている野球の用語を創作したんですよ。意外な組み合わせですよ。その結果子規は2002年に日本の野球殿堂入りを果たすことになるのです。本人にとってこれこそ光栄の至りだったことでしょう。

愛媛の高校野球の事を書くにあたって真っ先に思い出したシーンがあります。1996年8/21夏の大会の決勝戦、と書くとは詳しい方にはピンと来るかと思いますが。そうあの伝説のバックホームです。対熊本工との決勝戦同点の延長10裏1死満塁から打たれた大きいライトフライ、誰もが「サヨナラだ」と思ったその時に起きた奇跡のプレイ、この奇跡で息を吹き返した松山商は11回の表に3点を得て優勝し、大正・昭和・平成の3時代で優勝した唯一の高校となったのであります。この奇跡の動画、「松山商 バックホーム」で探せば出てくるので是非とも観てください。私もリアルタイムで色々な試合を観てきました。その中でも忘れられないシーンですよ。

今回はここまでにします。お付き合いいただきありがとうございます。では今月の問題です。

問題: お茶とうなぎと聞くと前回取り上げた静岡県を思い浮かべる方も多いと思いますがお茶の生産量は静岡に次いで僅差の2位、養殖ウナギに至っては出荷高の半分を占め見事日本一となっている県はどこでしょう?

中小企業庁 知的財産権に関する紛争の責任・負担 下請事業者に転嫁する行為への対応に注意喚起

中小企業庁は、「知的財産取引に関するガイドライン」を策定するとともに、知財 G メンによるヒアリング調査を通じ、知的財産取引の適正化に努めています。

知財 G メンによる調査の中で、発注者への納品物について、第三者との間に知財権上の紛争が発生した場合に、発注者が例外なく受注側中小企業にその責任を転嫁できる可能性のある契約が締結されている事案が確認されました。

このため、中小企業庁では、諮問機関である「知財アドバイザリーボード」の助言を踏まえ、対象となる発注者に対し契約条項の見直し等を要請しました。また、他の事業者間でも類似の契約が発生し得ることを踏まえ、現行のガイドライン及び契約書ひな形を改正することとし、パブリックコメントを開始します。

発注者に対しては、第三者との間に生じる紛争解決責任を、中小企業に一方的に転嫁しないよう、契約の点検等の配慮を要請していきます。

「知的財産ガイドライン」及び下請中小企業振興法に基づく「振興基準」の関連条項の概要

下請中小企業振興法に基づく「振興基準」では、知的財産権に関する取引の適正化に向けて、「知的財産取引に関するガイドライン（以下、「ガイドライン」）」に掲げられる「基本的な考え方」に基づいた取引を行うこととともに、「契約書ひな形」の活用を推奨する旨を定めています。

また、ガイドラインの中では、発注者の指示に基づく業務について、第三者との間に生じる知的財産権上の責任を、中小企業に一方的に転嫁する行為（以下、「責任転嫁行為」）、及びその旨を契約に定めることをしてはならない旨を定めています。

下請中小企業振興法に基づく「振興基準」

5 知的財産の保護及び取引の適正化

(1) 親事業者及び下請事業者は、「知的財産取引の適正化について」（略）を踏まえ、「知的財産取引に関するガイドライン」に掲げられている「基本的な考え方」に基づき、知的財産権等（知的財産権及び技術上又は営業上の秘密等（ノウハウを含む。）をいう。以下同じ。）に係る取引を行うものとする。その際、知的財産権等の取扱いに係る取引条件の明確化のため、同通達附属資料「契約書ひな形」の活用を推奨する。（略）

知的財産取引に関するガイドライン

5. 知財訴訟等のリスクの転嫁

【あるべき姿】

発注者の指示に基づく業務について、知的財産権上の責任を、中小企業等に一方的に転嫁してはならない。

発注者の指示に基づく業務について、仮に他社の知的財産権を侵害した場合、それを受注者側に一方的に転嫁させることや、その旨を契約に定めることは適正な取引とはいえない。（略）

責任転嫁行為が認められる可能性がある契約の発見と改善要請の実施

知財 G メンによるヒアリングの中で、中小企業への責任転嫁が例外なく認められる可能性がある契約を締結していた発注者を複数社発見し、これらの事業者に対して事実確認を行ったところ、当該条項が発動した実績こそないものの、こうした契約を実際に締結していたことが確認されました。

【ヒアリングによって発見した契約条項のイメージ】

下請事業者が納入する目的物について、第三者との間に知的財産権等に関する紛争が生じたときは、下請事業

者の一切の責任と負担においてこれを処理解決し、親事業者及びその顧客に損害を及ぼさない。

上記のような条項が契約書に存在する場合、例えば、「中小企業は、発注者が決定した仕様に基づき、委託を受けて製造を行っただけ」のように、中小企業に第三者が有する知的財産権の侵害責任が認められない場合であっても、当該製品について第三者との間に紛争が生じたときは、発注者は、紛争解決責任の一切を、例外なく一方的に中小企業に転嫁することが認められるおそれがあります。

ガイドライン及び契約書ひな形の改正の検討

他の発注者においても、類似の契約が幅広く存在する可能性があること、また、今後も類似の契約が新規に締結される可能性があることを踏まえ、発注者として注意すべきポイントの明確化と、未然防止策の強化を目的として、ガイドライン・契約書ひな形の改正を行うこととし、パブリックコメントの募集を開始しています。

主な改正事項は、以下のとおりです。

(1) ガイドラインの改正事項

実際の取引において発生しうる様々なシチュエーションを想定しつつ、状況に応じた適切な責任分担の考え方や、帰責事由がない下請事業者が親事業者に対して行使すべき権利等について、詳細な解説を追記。具体例は以下のとおり。

- 第三者の知的財産権を侵害しないことに係る保証責任や、その保証に当たっての調査費用等の負担については、目的物の仕様決定において発注者・中小企業が果たした役割等に応じて適切に分担することとし、中小企業に例外なく一方的に転嫁してはならないこと。
- 発注者から中小企業への「指示」は、例えば、口頭での助言や情報提供のような、正式な書面によらない形式のものも含み得ること。
- 中小企業に帰責事由がないにもかかわらず、中小企業が第三者から訴えられた場合には、発注者は、中小企業からの、目的物の仕様決定に係る経緯等の開示要請や、第三者との間に生じた損害賠償についての求償等に応じるべきこと。

(2) 契約書ひな形の改正事項

責任転嫁行為を含む契約が締結されることを防止するために当たって、中小企業が参照すべきモデル条項を新設。

発注者・中小企業の皆様へのお願い

先述の通り、責任転嫁行為、及びその旨を含む契約の締結は、下請中小企業振興法に基づく「振興基準」に抵触する可能性のある行為です。サプライチェーンの共存共栄に向けて、引き続き適正な取引の推進と、以下の点に協力をお願いします。

【発注者に対するお願い】

1. 既存の契約書において、責任転嫁行為が認められる可能性がある条項が含まれていないか、点検すること
2. 今後締結する契約について、責任転嫁行為を含まないよう注意するとともに、中小企業の利益を不当に侵害することがないように、十分に協議を行った上で締結すること
3. 中小企業から契約条項の見直しに関する相談があった場合には、中小企業庁が公表している「知的財産取引に関するガイドライン」や「契約書ひな形」等を参考に、下請中小企業振興法の「振興基準」に抵触することのない形に契約を改めることを検討すること

【中小企業に対するお願い】

1. 発注者が提示した契約書フォーマットにそのまま従ってしまった等により、知らずのうちに自社に不利な契約を締結されていないか、改めて契約内容を確認すること
2. 自社の利益を不当に害されるおそれのある契約条項を確認した場合には、中小企業庁が公表している「知的財産取引に関するガイドライン」や「契約書ひな形」等を活用することにより、発注者に対し、適切な契約を締結するよう求めること

■ <https://www.meti.go.jp/press/2024/07/20240731001/20240731001.html>

業 界 の 動 き

ジャグラ

「ゴルフとイサキ釣りで3連休満喫」
東京グラフィックス・港支部

稲満支部長、鈴木幹事長（港支部での役割名）、津留副支部長、田中副支部長、遠藤副支部長、佐藤副支部長、宮地の7名で静岡県熱海市に2泊3日（7/13-15）で「ゴルフとイサキ釣りで3連休満喫」してきました。まずは、ゴルフ組が1日早く先乗りして、続いて釣り組が合流しました。

初日のゴルフ組は、雨予報でしたが、過ごしやすい天気になり、富士箱根根カントリークラブでの環境状況はバッチリ。ただし、スコアはバッチリとはいかず、津留副支部長が絶不調。それでも昼は美味しい鰻を食べて元気チャージしました。その夜は、釣り組が合流し、美味しい居酒屋で舌鼓。アジのなめろうが特に絶品で2回も注文！また地のお刺身盛り合わせ、アジの骨せんべい、まんぼうの揚げ物などなど、ご当地の日本酒とお料理は最高で大大満足でした。

翌日は、網代から貸し切り船で4時出船。まずは酔い止めアネロンを飲んで準備万端、狙うはイサキ五目。出船前にレクチャー電動リールの使い方、餌のつけ方、誘い方などを教わりいざ出船！釣果は、イサキ、ソー

ダカツオ、カイワリ、サバ、金魚？など大漁でした。途中、前日の大騒ぎの影響か、睡魔に襲われサボリー

マン2名が途中脱落、船上で寝んねタイムとなりました。

結果は、釣った魚が合計で50匹となり、すべてを捌き、台所回りは、大事件状態となりました。それでもイサキのなめろう、ソーダカツオの竜田揚げ、イサキとカイワリの刺身、魚の骨を焼いた出し汁、イサキのアクアパッツァなど、普段味わえない魚尽くしとなり、とてもよい3連休を満喫しました。

記：みなと支部副支部長 宮地 本治



ジャグラ

新支部長に主演哲也氏（横浜印刷）就任
新体制にて次年度スタート
岩手県支部

去る令和6年7月26日（金）、盛岡市のアートホテル盛岡で第70回支部定時総会が開催されました。議案等すべて審議の上承認され、役員改選で新支部長に主演哲也氏が選出され新たな執行部体制がスタートしました。記念講演会にはMIS委員会・稲満信祐委員長をお招きし「経営判断と単品損益の関係～損益管理の必要性、そして事業存続の判断～」と題して講演して頂きました。その内容の衝撃さ故か支部会員は大いに触発され、最後に配布されたMISエントリーシートに数社が応募を希望するという成果が挙げられました。懇親会には後藤卓也東北地協会会長をはじめとするご来賓・関連業者様・会員併せて

29名が参加、稲満ジャグラ文化典東京大会実行委員長のマンガ動画・ポスターによる大会PR、新役員紹介もあり大盛況でした。中締め前には前支部長・菅原正行氏に支部より花束が贈呈され任期8年間の労をねぎらいました。



謄写版発明130周年
ジャグラ原点の『ガリ版』技術を振り返る

ジャグラの原点である謄写印刷技術（ガリ版印刷）。堀井新治郎父子が謄写版一号機を発明してから130周年を迎えました。本稿では、世代交代が進み、グラフィックサービス業へと転換していく中で、薄れていくジャグラの技術原点である謄写印刷について振り返ります。

1894年1月に染色に用いる捺染法にヒントを得て、強力な雁皮紙にロウを塗り、鉄筆で文字や図形を描く方法を完成させ、「謄写版」と名付けました。同年7月に神田鍛冶町に「謄写堂」を設立し、販売をスタートしました。

初代新治郎氏（父）は内務省に、二代新治郎氏（子）は商事会社にもともと勤めていましたが、煩雑な文書事務処理を何とかできないかと、簡便な印刷機の開発を始めました。試行錯誤する中で、印刷技術の先を進んでいた欧米に学ぶため、1893年5月に米国・シカゴで開催されたシカゴ万博を視察。堀井氏はその会場で、エジソンのミメオグラフに出会い、その理論をもとに研究開発した結果、謄写版の開発を実現させました。堀井氏とエジソンとの交流については月刊グラフィックサービス2022年10月号を参照してください。

堀井父子が発明した謄写版は、その後日清戦争、日露戦争で陸軍省から大量発注を受けたことで需要を伸ばし、やがて官公庁や学校を通じて全国的に広がっていきました。

謄写印刷の技術については、山形謄写印刷資料館の後藤卓也館長（ジャグラ副会長、東北地協会会長、山形県支部長）が月刊グラフィックサービス2016年2月号に執筆いただいた「温孔知新 第2回 愛すべき道具たち」から紹介します。

謄写印刷は、①下絵の上にロウ原紙を固定し、下書きを



東京・神田にある謄写版発祥の地の記念碑

鉛筆でなぞります。②下書きを写したロウ原紙をヤスリ（木製の板をくりぬいた中に、目が彫られた金属が埋め込まれた製版用の道具）に固定し、鉄筆で下絵に沿って傷をつけます。この時の音が「ガリガリ」と聞こえます。ここで力を入れすぎるとロウ原紙が破れてしまい、力を抜き過ぎてても版が完成しません。③下絵をガリガリしたロウ原紙を印刷機にはさみ、紙を置き、インクを載せてローラーを転がします。鉄筆で傷つけたところにインクが染み出て紙に写ります。2色刷りする際はロウ原紙で版をもう一つ用意して同様の作業を行います。

鉄筆は大別すると単独のもの、軸が同じで先を変える方法のセットものの2つに分かれます。メーカーは須坂製作所のものが多く、須坂製は50番、80番、250番といったように番号で分けられます。

ヤスリのメーカーは、「王冠」「シャチ（大島）」「堀井」「ハヤシ（ホース印）」があり、ヤスリの目によって方眼、斜体、宋朝、絵画（アート）に分けられ、方眼・斜体は目の粗さによってA、B、Cに分けられます。また、木の板にヤスリ本体を置いて固定する2面だけのものと、その横にアートヤスリ等の細かいヤスリがついているもの、3枚1セッ



謄写印刷機材（山形謄写印刷資料館）

トでコンパクトに持ち運びできるものがあります。特殊なものとしては罫線や模様専用のヤスリがあります。

原紙の生産地は岐阜県(美濃)と高知県が2大生産地で、高知県伊野町の四国謄写堂が最大手で良質な原紙を作ることでも知られていました。原紙は元々無地ですが、これに3mm、3.5mm、4mm、5mm、原稿、プリント縦・横(A/B/C)様々にプリントされています。

文字などを間違えて製版してしまった時には、孔をふさぐのに修正液を用います。鉄筆用は茶色の液体、ボールペン原紙・タイプ原紙用は緑色や青色の液体でした。

これに謄写印刷機を用いて印刷物を作成した会社の集まりがジャグラの原点となっています。

以下にガリ版の歴史を学べる資料館などをご紹介します。ご興味のある方は是非訪れてみてください。

- ・山形謄写印刷資料館(山形県山形市銅町1丁目1-5)
- ・ダイトー謄写技術資料館(岐阜県岐阜市折立364-1)
- ・ガリ版伝承館(滋賀県東近江市蒲生岡本町663番地)

<参考文献・引用>

- 『ガリ版文化史 手づくりメディアの物語』
(田村紀雄・志村章子 編著、新宿書房刊)
- 『エジソンを超えて JaGra 冒険の足跡』
(日本グラフィックサービス工業会発行)
- 『素晴らしき謄写印刷の世界 温孔知新』
(後藤卓也 著、阿古那書房発行)



堀井輪転印刷機(山形謄写印刷資料館)

一般社団法人
日本グラフィックサービス工業会

JaGraグループ保険制度

災害保障特約付・災害割増特約付団体定期保険

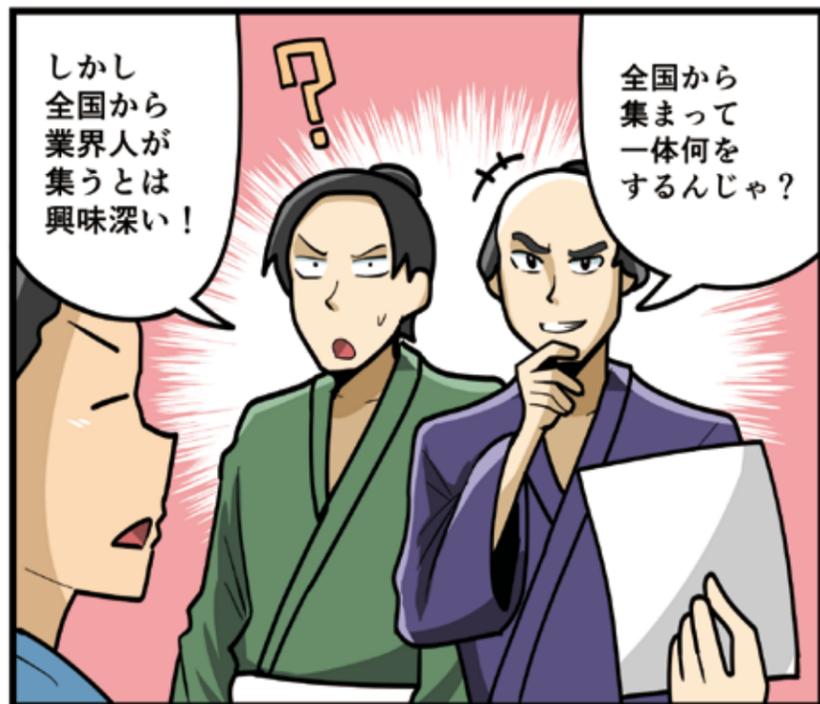
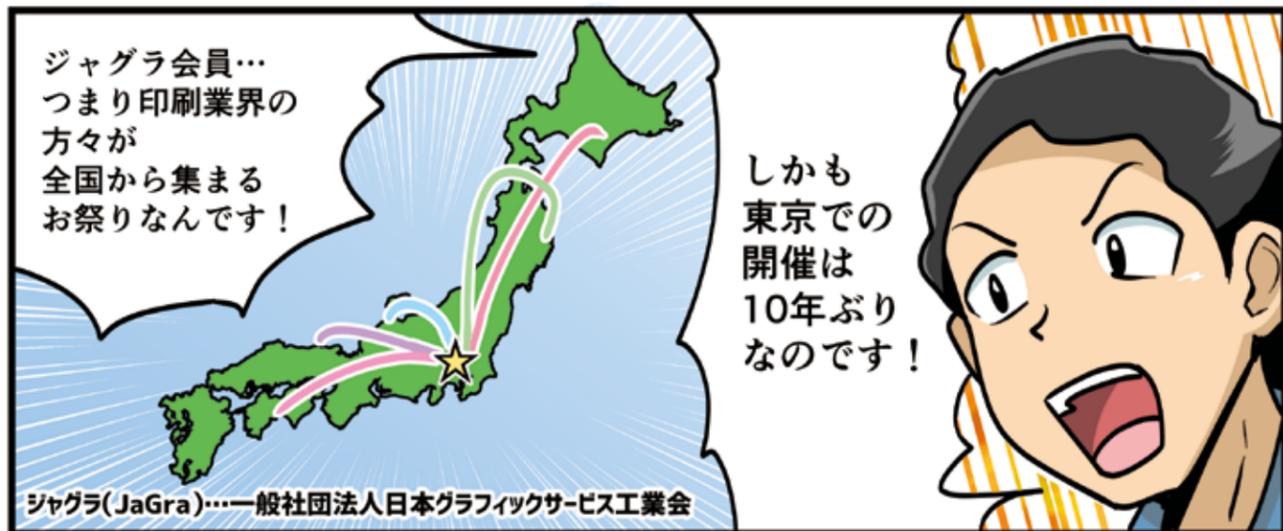
- ◆ 割安な価格で充実の福利厚生
(例: 30歳男性、1口327円/月)
- ◆ 70歳まで加入可能
- ◆ 死亡以外に事故による入院も保障
- ◆ 医師の診査不要、告知のみで申込



加入・お問い合わせはジャグラ事務局まで

☎ 03-3667-2271





「印刷」復活!

— 情報文化の可能性は無限大 —

グラフィックサービス業の逆襲

日時: 2025年6月21日(土) 13時~ (予定)

場所: 浅草ビューホテル

〒111-8765 東京都台東区西浅草 3-17-1

8月の事務局日誌

- 1日 Pマーク現地審査 (長野) →長野 労働安全衛生部会→田中専務
- 2日 Pマーク現地審査 (長野) →長野
- 4日 印刷屋さんのお仕事展 (はるみらい)
- 5日 印刷屋さんのお仕事展 (はるみらい) SPACE-21 幹事会 (Web会議)
- 6日 Pマーク現地審査 (愛知) →長野 作品展委員会
- 7日 Pマーク現地審査 (愛知) →長野 広報委員会 (Web会議)
- 8日 会員拡大特別委員会 (Web会議)
- 9日 業態進化委員会 (Web会議)
- 21日 Pマーク審査会・個人情報保護委員会→田中専務、長野、今田
- 22日 環境自主行動計画推進WG ジャグラコンテスト委員会 (Web会議)
- 26日 Pマーク現地審査 (大阪) →長野 正副会長会議 (Web会議) サステナブル委員会 (Web会議)
- 27日 Pマーク現地審査 (大阪) →長野
- 28日 Pマーク現地審査 (大阪) →長野 MIS研究委員会 (Web会議) Pマーク現地審査 (石川) →田中専務マーク審査会
- 29日 Pマーク現地審査 (大阪) →長野 Pマーク現地審査 (石川) →田中専務 委員長会議 (Web会議)
- 30日 Pマーク現地審査 (石川) →田中専務

9月のスケジュール

- 2日 地域活性化委員会 (Web会議)
- 4日 DTP教室運営委員会 (Web会議) 広報委員会 (Web会議)
- 5日 自費出版文化賞最終審査会・記者発表会 (吉祥寺東急REI)
- 6日 SPACE-21 夏の幹事会 (青森)
- 7日 SPACE-22 夏の幹事会 (青森)
- 10日 生産性向上委員会 (Web会議)
- 11日 理事会 (本部) 日印産連 9月印刷の月
- 13日 業態進化委員会 (Web会議)
- 18日 GP推進部会 (Web会議)
- 19日 Pマーク現地審査 (神奈川) →今田、田中専務
- 20日 会員拡大特別委員会 (Web会議)
- 25日 日印産連ステコミュ③→岡本会長、田中専務 Pマーク現地審査 (大阪) →長野
- 26日 Pマーク現地審査 (大阪) →長野

10月のスケジュール

- 2日 Pマーク審査会 / 個人情報保護委員会 (ニッケイビル)
- 5日 SPACE-21 全国協議会 (大阪)
- 9日 Pマーク現地審査 (秋田) →田中専務
- 10日 Pマーク現地審査 (秋田) →田中専務
- 11日 業態進化委員会 (Web会議)
- 16日 サステナブル委員会 (ニッケイビル)
- 24日 会員拡大特別委員会 (Web会議) 正副会長会議 (Web会議) Pマーク現地審査 (福岡) →長野

事・務・局・便・り

お酒が美味しい季節ですね。私はビールが大好きです。某専務に教えていただき、IPAにドハマリ中で先日、娘の名前の商品を見つけてケース買いしてしまいました (外で飲むよりは安いと言いついて)。さらに、数か月前からずっと気になっていたクラフトビール屋さんに行ってきました。サクッと1杯、美味しくいただきお会計へ。金額の表記がなかったので少しドキドキしながら金額を確認すると、なんと2500円! ビール1杯に2500円。今の自分には中々贅沢でしたが、躊躇なく美味しいお酒をいっぱい飲むように沢山働きます! (岩崎)

※「事務局便り」は本部事務局員が交替で執筆しています

月刊「グラフィックサービス」874号

■発行日 令和6年9月10日 (毎月1回)
 ■発行人 岡本 泰
 ■編集人 本村 豪経
 ■発行所 一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会 略称ジャグラ 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16 電話 03-3667-2271 ファクス 03-3661-9006 ウェブ https://www.jagra.or.jp/



ジャグラは一般財団法人日本情報経済社会推進協会指定のプライバシーマーク指定審査機関です

■編集部宛メール edit@jagra.or.jp

◎企画: ジャグラ広報委員会

担当理事 神山 明彦 愛知・(株)カミヤマ / 副会長
 委員長 本村 豪経 福岡・アイメディア(株) / 理事
 委員 東海林正豊 秋田 / (株)東海林印刷
 谷山 和也 東京 / 菁文堂(株)
 野口 聡 東京 / (株)アクティブ
 小澤孝一郎 山梨 / (株)オズプリンティング
 安達 睦男 大分 / (有)舞鶴孔版
 蛇塚 悠太 広島 / (株)ideal
 三宮 健司 高知 / (有)三宮印刷
 佐藤 愛子 大分 / (株)クリエイツ
 西谷 毅 東京・文京
 松谷 勝広 東京・文京
 笹井 靖夫 東京・文京
 田中 良平 専務理事

◎原稿・編集・校正
 田中 良平 阿部奈津子 今田 豪
 長野未奈美 岩崎 琴美 古田 理子
 以上、ジャグラ事務局

◎渉外 田中 良平
 ◎広告 田中 良平
 ◎Web 阿部奈津子 古田 理子
 ◎動画 今田 豪

◎組版 (株)クリエイツ
 DTP = Adobe CC ほか
 フォント = モリサワOTF / モリサワBIZ+ ほか



※本誌の一部にユニバーサルデザインフォントを使用しています

◎製版 / 印刷 (有)西村謄写堂 (高知・高知支部)
 RIP = FUJIFILM WORKFLOW xmf
 CTP = Luxel T-6300 (自現:富士フィルムXP-1310R)
 刷版 = FUJIFILM SURERIA XP-F
 印刷機 = RYOBI 924D
 インキ = 東洋インキ
 用紙 = 三菱ニューVマットA判 57.5kg

Copyright 2024 JaGra 禁無断引用

※本誌記載の製品名は一般に各メーカーの登録商標です
 原則、TMや®マークは省略しています
 ※乱丁 / 落丁本はお取り替えいたします

【雑学コラムお題の答え】 鹿児島県

RMGT-CSPI

ともに創る印刷の未来



RMGT-CSPIが

SDGs達成をアシスト



印刷会社のSDGs達成のためのソリューションを提案、具現化するRMGT-CSPI。
各分野の企業が連携し、お客さまに寄り添いながら課題を解決・サポートします。

